

矢板市 生活支援体制整備事業 第2層協議体準備会(2回目)を開催しました

第6号
H31年4月

矢板市社会福祉協議会は、矢板市から生活支援体制整備事業の委託を受け、高齢者の方がいつまでも住み慣れた地域で元気に過ごすことができるよう、助け合い・支え合いのある地域づくりに取り組んでいます。

第2層協議体設置に向けての準備会(2回目)を開催しました。



泉地区 3月22日 参加14名

矢板地区 3月27日 参加名

片岡地区 3月28日 参加名

1 「協議体の理解を深めるセミナー・座談会」について

3月15日のセミナー・座談会の報告をさせていただきました。

2 ワークショップ「宝物(あるもの)探し」～地域にある助け合い・支え合いの掘り起こし

セミナー・座談会で、生活支援アドバイザー菅野さんのお話にもありましたが、まずは地域情報の共有(社会資源などあるもの探し、地域の困り事や課題の収集)を行い、現在それぞれの地区(泉・矢板・片岡)の地域情報を見える化し、協議体が立ち上がり活動を始めていく時の話し合いの材料にさせていただくと、1回目の準備会では「地域の困り事・課題の分類」で『地域にある困り事』を出していただきました。今回は『自分の地域にある助け合い・支え合い(日常的に行われている住民の支え合い・身近なつながり)』を出してもらいながら、話し合いを行いました。



写真は、矢板地区で行ったものです。

地域や公民館の行事、シニアクラブ、サロン、ボランティアだけでなく、近所同士のお付き合いで行っているものとして「毎朝、庭先や散歩で会う人から悩み事の相談をされて、アドバイスなどを行っている。」「近所の人が具合が悪いことに気づいて、救急車を呼んでくれた。」などたくさんの宝物(あるもの)を出していただきました。

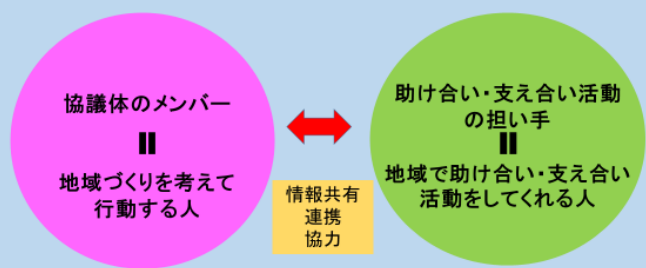
実際に行ってみると、普段当たり前のように行っている事や生活の一部になっているような事などは、自分でも気づかなかつたり、書くことが難しかったなどの話もありました。こうした“気づかないうちにしている助け合い・支え合い”は日常の中で何気なく(負担に感じることなく)行われているものであり、こういったものが地域の中で行われていると知ることが助け合い・支え合いのある地域づくりを進めていく上ではとても重要だと思います。

3 今後の予定

第2層協議体は、参加していただいている皆さんの合意を得て、発足させていただこうと思っています。第2層協議体の活動内容や今後の展開がわかりにくいのご意見もいただいています。皆さんの理解を深められるように、より一層努力をしていきます。各地区4月の日程を決め、準備会を続けさせていただくことになりました。

泉地区：4月19日(金) 片岡地区：4月24日(水) 矢板地区：4月26日(金)

助け合い・支え合いのある地域づくりを行うメンバー



準備会では、『助け合い・支え合いのある地域づくりを行うメンバー』の呼称についてアイデアを寄せていただきました。

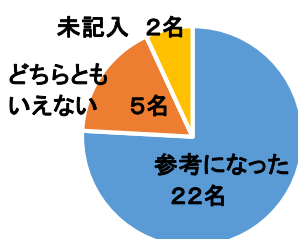
- ◆ ふくろう(不苦勞)隊
- ◆ カトレア
- ◆ お助け隊
- ◆ もっともさん
- ◆ 支え合う会
- ◆ 支え合い矢中(第2層の集合体)
- ◆ あゆみ
- ◆ 矢板いきいき支え合い暮そう協議体
- ◆ いっしょにやろう会
- ◆ あいあいなかま
- ◆ いきいき学習

- 助け合い・支え合いのある地域づくりは、協議体のメンバーだけで行っていきわけではありません。助け合い・支え合い活動の担い手（すでに地域でボランティアなどの活動している人など）と情報共有・連携・協力をしながら、一緒に行っていきます。
- 協議体のメンバーは、助け合い・支え合い活動の担い手とのつなぎ役でもあります。具体的には、協議体の話をそれぞれの地域・組織や団体などに持ち帰って話をしたり（知ったことを広めていただくことで、住民への周知・活動の周知になります。）、また協議体の話し合いでそれぞれの地域・組織や団体などの情報を持ち寄ってもらいます。地道な活動になりますが、そうしたことを行いながら助け合い・支え合いに関心を持っていただける方を増やしていくことが必要です。

アンケート結果

参加者64名 アンケート回答者 29名

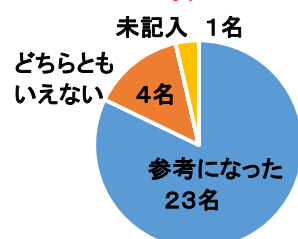
セミナー・座談会



参考にならなかった 0名

- 繰り返し説明を聞くことで、どういうものかわかってくる。
- 地域の方との交流の場になり、情報を得ることができた。
- いまだに協議体の活動、役割が不明。活動の情報交換の場と理解した。
- 民生委員の活動の拡大版として理解している。
- 困り事を早期に見つけられる活動になればと思います。

宝物(あるもの)探し



参考にならなかった 0名

- 地元の仲間づくりに可能性がありそう。
- いろいろな意見が出ておもしろかった。
- 地域のいろいろな活動を知ることができた。
- 同じ情報を共有できた。
- 地区で現在行っている行事などがかなりあることを知った。
- 普段あまり関わりのない方とコミュニケーションがとれた。

H31年3月27日までで協議体のメンバーとしてお名前を書いていたいたっている方
 泉地区:5名 矢板地区:20名 片岡地区:11名

【その他 ご意見・ご要望など】

- 準備期間としての進行は順調と思う。
- 各地区の情報交換の場をもうけると良いかと思えます。

助け合い・支え合いのある地域づくり・第2層協議体は、皆さんからいただく貴重なご意見をもとに進めさせてもらっています。ぜひ、みなさんのご意見をお寄せください。



助け合い・支え合いのある地域づくりの取り組みは、今までにない新しいスタイル・手法です。私たちも初めてのことで、毎日試行錯誤の連続です。皆さんの地域を安心して暮らしていける地域にしていくために、皆さんの力が必要です！ぜひ私たちに皆さんの力を貸してください。

矢板市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 川畑・只木・吉田
 電話 44-3000 FAX 43-6661

